

就学前教育保育施設経営者様向け

謝恩セミナー

早割価格11,000円 [11月7日（金）正午迄の申込適用]

開催@日本橋ホール

2025年 **11月28日** [金] | 13:00-18:00 | 12:30～受付

イマドキの地域一番園化を実現する、
園経営とマーケティングのレシピ。

- 組織の文化（≡世界観）をアップデート -

合理性を包み込み、独自性を的確に伝達し、冒険的世界観で周囲の応援に包まれる時代。

こんにちは。(株)GCLIP代表の設楽竜也です。まずは、今年も本セミナーが開催できますこと、就学前教育・保育事業経営者の皆様に心より感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

2015年に開始した子ども子育て支援新制度もいまでは「子ども子育て支援制度」として定着し、当時の量の拡大から質の向上へと本格的に舵を切りました。就職は新卒・中途問わず紹介によって成立し、退職は代行サービスの活用が世の常となり、時代の流れを彷彿とさせるサービスの成熟化は否応なしに進化しています。

幼稚園もしくは幼稚園由来の認定こども園の“主要顧客”である1号認定児の募集は、満3歳児含め昨年から顕著に陰りが見えています。理由は極めてシンプルで、①**まず出生数が激減していること。**②**入園の低年齢化がすすんでいること。**そして、③**保育認定（2号、3号）での入園が増加していること。**この3点に集約されます。

入園の動きに目を向けると、新制度開始以降、就学前教育・保育の利用には年々お金がかからなくなり、保護者の就労支援という名のもとに顕在化しつつける“**保育サービス対応型のニーズ**”は園選びの合理的かつ重要な判断材料となりました。「平日1日11時間の開園」「（できれば温かい）給食の提供」「低年齢児からの受け入れ体制」の整備は、60年代後半の“新3種の神器”の如く**無ければ不満の種になるほど**“**当たり前**”の**基本価値レベル**との認識が進んでいます。ですから、この保育サービスの価値（＝合理的入園判断材料）は標準装備として取り揃え、ニーズの高い合理的入園判断材料を包み込む必要があるのです。

そしておそらくこの標準装備は、募集定員の80%以上が集まっている園では既に取り組んでいるはずですが。問題は、この**標準装備が整っているだけで選ばれるということ自体が今後より難しくなっていく**ということです。

「差別化の要素」とは本質的に「選ばれる理由」と直結します。

利便的要素に焦点が当たる時期以前に、“**自園はどんな理由で選ばれていたのか**”を考えてみてください。おそらく、自園の教育・保育活動を通して育つ**「子どもたちの姿」を資料やプレゼンテーションのメインコンテンツにしていた**と思います。つまり、自園の活動を通して子どもたちはこんな風に育ちますよ！という、教育・保育内容にフォーカスした提案が自園の独自固有の長所となり、独自性という他園との違い（＝差別化要素）となるからこそ、選ばれていたはずですが。この独自性はあらゆる媒体を通して地域に的確に伝達することが大事です。

こうして、「合理性を包み込み、独自性を的確に伝達する」ことで、初めて**選ぶ側の“選択のテーブルに乗ることになる”のが82%もの対象女性が働く時代の園児募集である**ことを中心に置く必要があるのです。

もちろん、、、それだけではありません。。

新卒で卒業後50%～70%程度しか**幼保業界に就職しないというデータが物語る昨今の有資格者による業界離れ**。幼稚園教諭や保育士の採用に目を向けると、こんな悲しいデータが現れます。今年の20歳人口（2005年）は106万人しか生まれてません。さらに女性就労者がマジョリティの本業界では、そもそもの対象者は半減してしまいます。一般企業が採用の競合となる環境下で、自園が他園（民間他社含む）よりも優位に採用を進めるためにはインパクトとなる大きなアドバンテージが必要となるのです。

今回、本セミナーのテーマを「世界観」と掲げる最大の理由はここにあります。

9月下旬に弊社林が「Z世代の価値観と園のキャリアパスについての考察」という大変興味深い資料をまとめました。それによると、時代の流れとともに若者（Z世代）の価値観は具体的に次の3点で大きく変化していると言います。①**「安心感に対する定義」の変化** ②**「仕事そのものの捉え方」の変化** ③**「欲求と報酬価値」の変化**、です。それでは、ひとつずつ見ていきましょう。

①「安心感に対する定義」の変化

終身雇用や倒産リスクのない組織など「生活保障」に安心感を覚えていた従来世代に対し、Z世代は意見の言いやすい、風通しの良い風土やパワハラのない心理的安全性が土台にあってかつ、スキルアップや自己成長の機会がある「環境の安定」こそが安心感になると言います。

②「仕事そのものの捉え方」の変化

「仕事の中に人生がある」が従来世代の仕事感だったのに対し、Z世代の仕事感は「自分の人生を構成する要素として友人、余暇、家族、趣味などと同等のポジションに仕事がある」というのですから真逆です…。

③「欲求と報酬価値」の変化

「残業は当たり前、褒め言葉よりも先立つもの（お金）」を優先した従来世代に対し、Z世代は**“限定合理的な感情人”**と呼ばれ、もちろん先立つものは大事だけれど、「褒め言葉で承認し、ねぎらってもらう」ことが優先される場合も少なくないと言います。つまり、豊かさの最先端で生まれ育ったZ世代は先立つものは**支給されて当たり前だし、感情報酬が不十分だと満たされない心理構造**が構築されているようです。

1990年代中盤以降生まれがZ世代と定義されますので、**採用はもちろん、募集の中心も近い将来この世代に移行していきます**。では、この世代が求めるコミュニティ（組織）とは一体どんな組織なのでしょう？

それは、**“冒険的世界観”で運営される組織**だと言われています。「好奇心を掻き立てる問い」が飛び交い、「個性を活かし合う仲間」で溢れ、「対話と価値創造」が絶えず繰り返される組織にとにかく人が集まります。

詳細は当日のセミナーでお伝えしますが、**制度の新旧、類型の多様性に富んだ豪華ゲスト講師陣**に加え、今年9月から開始した経営情報の見える化によって横並びの評価を余儀なくされた業界に対し**“経営者情報”による差別化の提案に加え、就学前教育・保育現場へのAIエージェント導入の提案**と盛り沢山です。

時代に即した“冒険的世界観”に加え、今現場に必要とされるソフトを余すことなく提案する本セミナーに、経営者＋経営幹部の皆様にご参加いただきますこと、心より楽しみにしております。会場でお会いしましょう。

THANKSGIVING SEMINAR
FOR KINDERGARTEN

[“地域一番園実現” 謝恩セミナー]

12年目の「ありがとう。」
支えていただいた就学前教育・保育業界に、
感謝を捧げます。

GCLIP

FRI. 28/NOV/2025

“地域一番化実現”謝恩セミナー

-講師紹介-



野村 良司 先生 学校法人野村学園 理事長

パール幼稚園園長就任以来、幼稚園改革を断行し、それまでの「幼稚園」という概念覆し続けた改革者。2019年10月に開始した幼児教育・保育の無償化以降、保育に傾倒した政策が進化する首都東京で、都の幼児教育政策が保育所のそれに劣後しないよう尽力し、私学助成が発展する道の開拓に寄与する。経営の「原理原則」を軸に「時流適応力」にも長けており、大田区では民間園初の地域子育て支援拠点事業である、0-2MaMa Gartenを展開し、LTV戦略で幼稚園ならではの地域子育て支援にも一石を投じている。



白水 剛 先生 学校法人白水学園 理事長

福岡県春日市において白水学園3園を常に成長・進化に導く不動のリーダー。2003年くすの木幼稚園園長に就任すると、飽くなき進化への経営改革を断行し、瞬く間に白水学園の名を全国にとどろかせ、業界内外を問わず毎年年間100人以上の見学者が集う経営体へ導く。しかし2025年、時代の流れと共に3施設運営していた私学助成園を2施設に統合の上、新制度へ移行。令和型のコンパクト・マネジメントへ切り替え、職員の幸せを追求する組織体へと今もなお進化し続けている。



大貫 照親 先生 学校法人相模中央学園 中央幼稚園 園長

神奈川県第3の都市相模原市において地域一番園を導く理事長でもある大貫氏は、地域の子育て事情を冷静に見つめながら制度変更への対応や業界のトレンドを冷静に分析し、自園をよりよい状態に昇華するための判断をしている。09年に理事長に就任し、震災前、翌10年の新園舎計画を皮切りに、15年に学童、16年に小規模保育所参入し、18年に認可園化を実現。20年に園舎増築の伴う企業主導型保育を併設と完全自園給食施設であるFujiyamAKitchen付加による保育機能強化を果たし、自園主導の課外教室の強化、24年の「誰通」参入など多様化する地域の子育て事情に適應することで着実な成長を続けている。



藤田 正喜 先生 学校法人藤田学園 久留米あかつき幼稚園 園長

90年代業界にマーケティングを取り入れたパイオニア、藤田喜一郎氏を父に持つ藤田正喜氏。2019年に喜一郎先生より経営のバトンを受け取ると、6年にわたり園経営における“あかつきらしさ”をきっちり実践し、2025年4月に満を持して幼保連携型認定こども園へと進化すると、受け継がれるDNAの核を大切にしながら、新たな時代に適應しつつ、園児募集、職員採用から育成、行政対応に至るマネジメント力を発揮し、新しい価値を創造しながら地域一番園としての新たな歩みを進めている。

GCLIP

GCLIPとは、就学前教育・保育施設の経営を支えるクロコとして21世紀を生きる子どもたちの未来をつくる園の魅力 را ロジックと実装で地域の子育て家庭にお届けすることを舞台裏から精一杯支える企業です。

2014年、私立幼稚園の募集、採用のマーケティングに特化した経営コンサルティング会社として創立。2016年に4人体制となり、新制度移行のサポートや私立幼稚園の多機能化サポート業務の拡充に加え、業界に特化したキュレーションサイト運営、インターネット広告運用へと事業領域を拡大し、幼稚園経営を支える「黒衣」として業界への提案領域を拡大。近年の著しい出生数の低下や多様化、複雑化する子ども関連制度、事業の承継や譲渡など多様化するニーズに対応すべく2025年から8名体制で、さらなるコンサルティングの研鑽と拡充に鋭意努めている。

2025年11月28日(金)

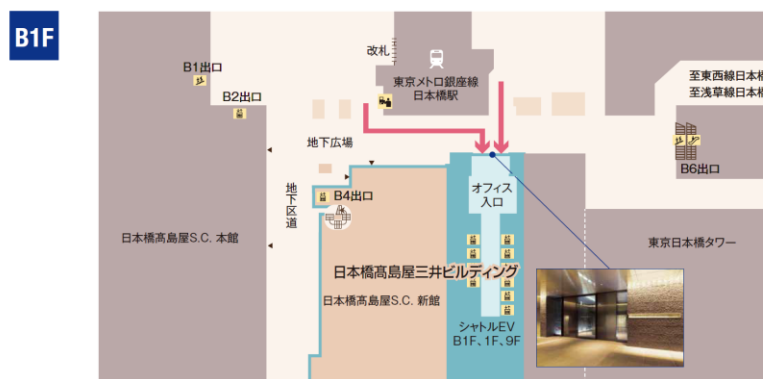
“地域一番園実現” 謝恩セミナー

- 講座構成 -

時間	講座内容	講師
12:30～受付開始		
13:00 ～ 13:30	2025年就学前教育・保育事業における 採用・募集マーケティングの最新トレンド	株式会社GCLIP
13:30 ～ 14:20	幼保連携型認定こども園移行元年を牽引！ 久留米あかつき幼稚園が目指す 新しい時代の組織の在り方	学校法人藤田学園 久留米あかつき幼稚園 園長 藤田正喜 先生
14:30 ～ 15:20	幼稚園を軸に展開する多角化経営 時代の流れに応じた変幻自在な園経営	学校法人相模中央学園 園長 大貫照親 先生
15:30 ～ 16:20	規模縮小と制度移行と共に 日本一幸せを感じる職員室をつくる	学校法人白水学園 理事長 白水剛 先生
16:30 ～ 17:20	私学助成で発展するための制度活用と 新しい時代の地域一番ブランドの守り方	学校法人野村学園 理事長 野村良司 先生
17:30 ～ 18:00	冒険的世界観で航海する令和の海 合理性のすべてを包み込み 独自性で地域一番園を確立する経営	株式会社GCLIP

会場後方にてAIエージェントブース、経営者情報の見える化ブースにて各提案があります。
終了後18時30分より、ささやかですが懇親の場をご用意しています。ゲスト講師も参加予定です。
懇親会会場はセミナー会場に隣接する建物内の飲食店になっております。ぜひご参加ください。

- 会場マップ -



日本橋ホール
〒103-6109 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
日本橋高島屋三井ビルディング9階

- ・地下鉄東京メトロ銀座線・東西線
「日本橋」駅 直結
- ・地下鉄都営浅草線「日本橋」駅 徒歩1分
- ・地下鉄東京メトロ半蔵門線「三越前」駅
徒歩5分
- ・JR「東京」駅 徒歩5分

日本橋高島屋三井ビルディング
アクセスマップ⇒



GCLIP

“地域一番園実現” 謝恩セミナー

受講料： 通常価格 お一人様33,000円(税込) 11月7日(金)正午以降の方

早割価格 お一人様11,000円(税込) 11月7日(金)正午迄の方

※早割価格は、弊社受信日時で11月7日(金)正午12時までのお申込みにて適用となります。

※本セミナーは会場席数に限りがあるため、早割期間であっても申込を締め切る場合がございます。

受講をご希望の方は、お早めにお申し込み下さい。

※早割でお申込み頂いた方が11月7日(金)正午12時以降にキャンセルされた場合、キャンセル料金33,000円を申し受けますので、予めご了承ください。

日 時： 2025年11月28日(金)13:00～18:00

※セミナー終了後、18:30より懇親会を予定しております(懇親会費用15,000円/名)

会 場： 日本橋ホール (地下鉄東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅直結)
東京都中央区日本橋2-5-1日本橋高島屋三井ビルディング 9階

《お問合せ先》(株)GCLIP(担当:渡辺・三浦) ☎03-5579-2356(平日10:00～15:00)

お申込み方法 (①WEB②FAX いずれかを選択してください)

①WEB申込み方法

＼ WEBからのお申込みで合計金額より500円OFF! ／



<https://www.gclip.net/seminar/5872/>



右記のQRコードからお申込みください⇒

②FAX申込み方法

以下にチェックした上で、必要事項を記載して

☎ 03-5579-2357 へFAXで送信ください。

☐ 当セミナーへ参加する (名)

☐ 懇親会へ参加する (名)

※懇親会にはゲスト講師も参加予定です。

※懇親会の費用はセミナーとは別におひとり様15,000円となります。

ふりがな				ふりがな			
法人名				施設名			
所在地	〒			電話			
				FAX			
ふりがな		役職		連絡 ご担当者	役職： ご氏名：		
代表者							
ふりがな		役職		ふりがな		役職	
ご参加者 1				ご参加者 2			
メールアドレス @							

※受講票や御請求書は、メールにてお送りいたします。必ずご記入ください。

※最少催行人数（5名）に達しない場合はセミナーを中止する場合がございます。中止の場合はセミナー開催1週間前までに、お電話にてご連絡をいたします。

※セミナー開催日から起算して1週間以内のキャンセルの場合、キャンセル料として受講料の100%を申し受けますので、予めご了承ください。

※今後ダイレクトメールの発送を希望されない場合、大変お手数ではございますが下記に☑を入れてFAXにてお送り下さい。

今後はダイレクトメールの発送を希望しない ☐

【個人情報に関する取り扱いについて】

申込用紙に記載されたお客様の情報は、セミナーや勉強会の案内等に使用することがあります。法令で定める場合を除いては、お客様の承諾なしに他の目的に使用いたしません。

必要となる情報（会社名・氏名・電話番号）をご提供いただけない場合は、お申込のご連絡や受講票の発送等ができない等、お手続きができない場合がございますので予めご了承ください。

その他、ご不明な点等ございましたら株式会社GCLIP（TEL03-5579-2356 担当：渡辺）までご連絡ください。